MIZUHO

MES-CG18-353-10

＊２０２４年 ６ 月（第２版）
２０１９年 ７ 月（第１版）

製造販売届出番号：13B1X00306N10306

器０１　手術台及び治療台
一般医療機器　　汎用電動式手術台　（36867020）

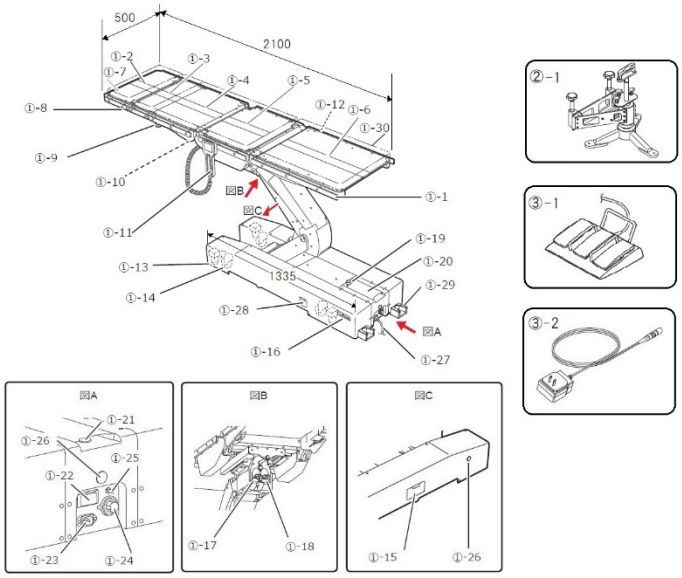
特定保守管理医療機器

手術台　ＭＳＴ－７３００ＢＸ－ＣＴ・Ｒ

＊【警告】
＜使用方法＞
１．患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを作動させる又は患者をアクセサリーで支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位保持は神経麻痺や褥瘡の原因になります。]
２．他社製アクセサリー等を取り付けて使用するときは、ご購入店又は弊社に相談すること。[手術台のサイドレール又は差込孔寸法が異なると装着できません。]

＊【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
１．手術台の移動及び設置
1-1 凹凸のある床面に設置しないこと。[転倒又はけがをするおそれがあります。]
1-2 位置を高くするために、手術台の下に当て物をいれないこと。［転倒又はけがをするおそれがあります。]
1-3 患者を乗せた状態でブレーキを解除しないこと。[患者が転落するおそれがあります。]
２．電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、キャスター付の機器で乗り越えたりしないこと。[電源コードが破損して火災又は感電事故を起こすおそれがあります。]
３．テーブルトップの手動操作部
3-1 頭部板や脚板の上に乗ったり座ったりしないこと。[転倒又は破損するおそれがあります。]
3-2 患者をベッドから移し替えるとき、又は患者の体位を変えるときは、頭部板又は脚板に無理な力を加えないこと。［頭部板又は脚板が破損するおそれがあります。]
４．手術台に患者を乗せるとき
頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せないこと。[転倒するおそれがあります。]

＊【形状・構造及び原理等】
１．外観図
① 手術台　② システム付属品　③ オプション



単位：mm

①-1	サイドレール	①-18	フットスイッチコネクタ
①-2	頭部板	①-19	緊急停止スイッチ
①-3	補助背板	①-20	タッチパネル
①-4	背板	①-21	起動スイッチ
①-5	腰板	①-22	電源スイッチ
①-6	脚板	①-23	電源コネクタ
①-7	頭部板屈折レバー	①-24	ＵＳＢ端子
①-8	頭部板固定ハンドル	①-25	等電位化端子
①-9	補助背板固定ハンドル	①-26	受光部
①-10	背板着脱レバー	①-27	電源コード
①-11	操作ボックス	①-28	非常用ブレーキ解除ハンドル
①-12	脚板着脱レバー	①-29	ドッキングブロック
①-13	ブレーキ	①-30	マットレス
①-14	キャスター	②-1	回転装置
①-15	予備スイッチ	③-1	フットスイッチ
①-16	ブレーキランプ	③-2	操作ボックス充電アダプタ
①-17	操作ボックスコネクタ		

注１：番号は１．外観図の番号に対応
注２：テーブルトップとは①-2、3、4、5、6 の総称
注３：ベースとは①-13～16、18～25、28 を含む基台

取扱説明書を必ずご参照ください。

商品コード	商品名	構成（注）
18-353-00	ＭＳＴ－７３００ＢＸ－ＣＴ・Ｒ 術中診断手術台システム	①②
18-353-10	ＭＳＴ－７３００ＢＸ－ＣＴ・Ｒ	①
18-043-52	液晶付操作ボックス赤外線リモコン	①-11
18-045-01	電源コード１.（4.5m）	①-27
18-018-86	手術台回転装置	②-1
18-443-43	手術台３連フットスイッチ	③-1
18-044-20	液晶付操作ボックス用充電アダプタ	③-2

注：番号は１．外観図の番号に対応

２．　質量

本体：367 kg　回転装置：8kg

３．　電気的定格

定格電源電圧　：AC100-240V
定格電源周波数　：50/60Hz
消費電力　：700VA
バッテリー電源電圧　：DC24V
バッテリー充電時間　：最長 20 時間（注）
注：使用条件により変わります。

４．機器の分類(JIS T 0601-1:2023)

電撃に対する保護の形式による分類　：クラスＩ機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：Ｂ形装着部
水の有害な浸入に対する保護の程度の分類　：ＩＰＸ４
本機はＥＭＣ規格 JIS T 0601-1-2：2023 に適合

５．　使用環境

周囲温度範囲：10℃～40℃
相対湿度範囲：30%～75%
気圧範囲　：700hPa～1060hPa

６．　機能

電動

1. 昇降範囲	最高位	：1100 mm±10 mm
	最低位	：450 mm±10 mm
2. 縦転角度	頭上がり	：20°　±2°
	頭下がり	：45°　+10°　/-2°
3. 横転角度	左下がり	：25°　±2°
	右下がり	：25°　±2°
4. 背板屈折角度	上がり	：90°　±2°
	下がり	：30°　±2°
5. スライド量	頭方向	：100mm±10 mm
	脚方向	：100mm±10 mm
	左方向	：80mm±10 mm
	右方向	：80mm±10 mm
6. 脚板屈折角度	上がり	：50°　±2°
	下がり	：45°　±2°
7. 自動水平復帰	縦転／横転／背板屈折／脚板屈折／横スライド／縦スライド(頭部板側：95mm)	
8. ブレーキ	固定／解除	
9. その他の電動機能	電源･充電･位置の情報を操作ボックス及びベースのタッチパネルで表示 高速･低速切替(除：フットスイッチ)	
10. 操作機器	操作ボックス／タッチパネル／フットスイッチ（オプション）／予備スイッチ／緊急停止スイッチ	

手動

1. 頭部板屈折角度	上がり	：60°
	下がり	：90°
2. 着脱可能箇所	頭部板／補助背板／背板／脚板	
3. その他の手動機能	手術台回転、非常用ブレーキ解除ハンドル	

７．　作動原理

本機は電動油圧手術台であり、電気的に制御するポンプモーター・バルブ及びシリンダー・オイルタンク等の油圧機器で構成されています。
操作ボックスを操作するとポンプモーターが作動し、オイルタンクの作動油がバルブを介してシリンダーへ送られます。シリンダーへ送られた作動油の圧力によりシリンダーが伸縮し、シリンダーと連動している手術台の機械部分が作動することで、手術台の機能が作動します。
シリンダーの作動が限界に達すると、シリンダーの動きは停止して手術台の作動は停止します。

＊【使用目的又は効果】

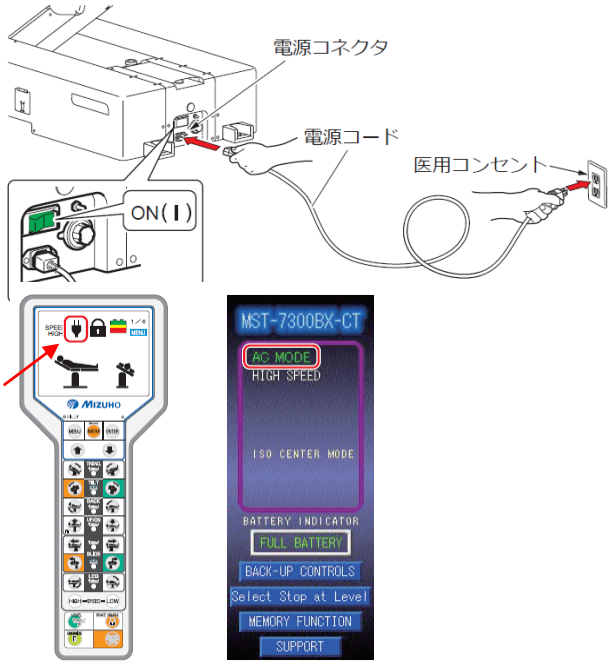
手術が必要な部位の大部分に適応するように改良された完全移動型手術台（汎用）をいいます。コンセント電源式・電池電源式の併用式のものです。

＊【使用方法等】

詳細な使用方法は取扱説明書をご参照ください。

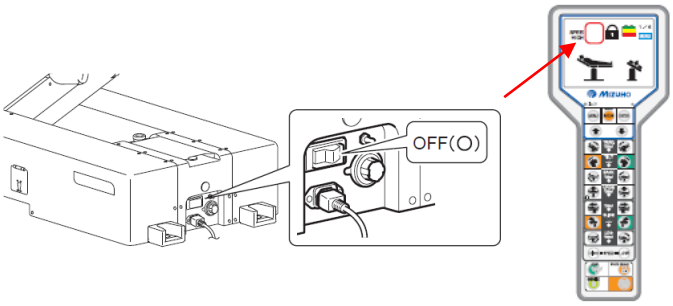
≪医用コンセントの電源で使用する場合≫

１．　電源の入れ方（使用前：医用コンセントの電源で使用する場合）



電源コードを電源コネクタと医用コンセントに差し込み、電源スイッチを ON（｜）にします。電源スイッチ緑が点灯し、タッチパネルに「AC MODE」、操作ボックスのモニター画面に🔌が表示されます。

２．　電源の切り方（使用後：医用コンセントの電源で使用する場合）

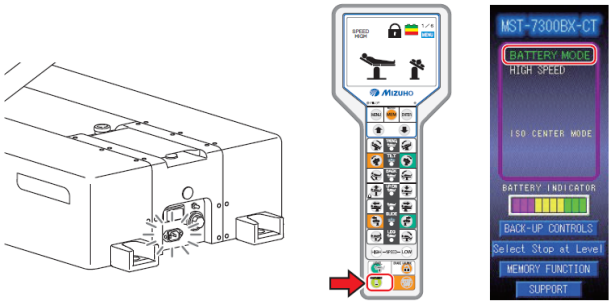


2-1 ベースの電源スイッチを OFF（○）にします。電源スイッチ緑が消灯し、モニター画面の🔌が表示されなくなります。

取扱説明書を必ずご参照ください。

2-2　操作ボックスの⊗を押します。タッチパネルとモニター画面が消灯します。

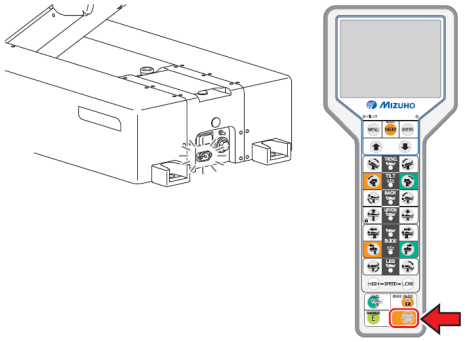
3．　電源の入れ方（使用前：バッテリー電源で使用する場合）



電源コネクタに電源コードが接続されていない状態で操作ボックスのⒺを押します。モニター画面に▬、タッチパネルに「BATTERY MODE」が表示されます。

（注）消費電力軽減のため ON/OFF 機能が作動し、電源が OFF になっている場合は、起動スイッチ又は操作ボックスのⒺを押して電源を入れてください。

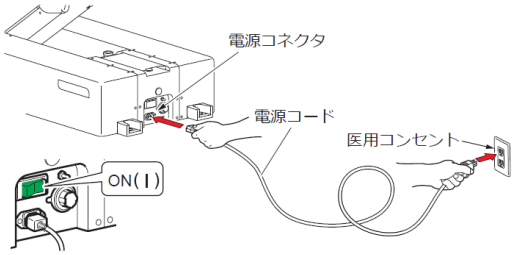
4．　電源の切り方（使用後：バッテリー電源で使用する場合）



電源コネクタに電源コードが接続されていない状態で操作ボックスの⊗を押します。タッチパネルとモニター画面が消灯します。

5．　バッテリー充電のしかた

5-1　操作ボックスの表示部を確認します。モニター画面のバッテリー残量アイコンが▬になったら充電が必要です。



5-2　電源コードを電源コネクタと医用コンセントに差し込み、電源スイッチを ON（|）にします。

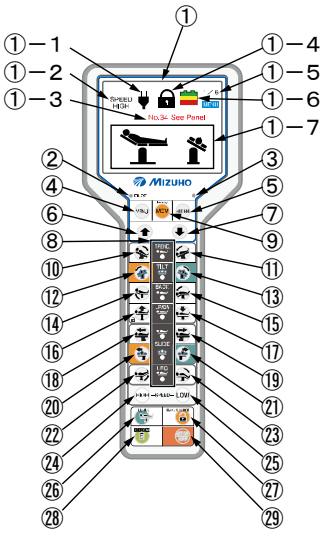
5-3　充電が始まります。充電中はタッチパネルのバッテリーインジケータに「CHARGE」が表示されます。

CHARGE

FULL BATTERY

5-4　バッテリーインジケータの表示が「FULL BATTERY」に変わると充電完了です。

6．　操作ボックスの使い方（使用中）

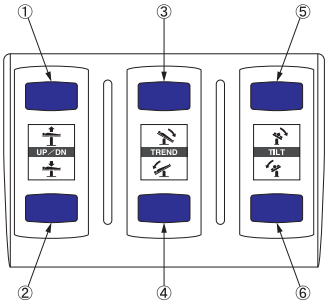


① モニター画面
　①-1 バッテリー電源起動状態
　①-2 速度状態
　①-3 注意･警告表示
　①-4 ブレーキ状態
　①-5 メニュー番号表示
　①-6 バッテリー残量
　①-7 現在の体位
② PILOT ランプ
③ リモコン充電ランプ
④ メニュースイッチ：
　位置表示／メモリーセット
⑤ エンタースイッチ：
　ポジション設定
⑥ スクロールスイッチ：↑
⑦ スクロールスイッチ：↓
⑧ 水平・中心ランプ
⑨ メモリースイッチ：
　ポジション設定
⑩ 縦転　　：頭上がり
⑪ 縦転　　：頭下がり
⑫ 横転　　：左下がり
⑬ 横転　　：右下がり
⑭ 背板屈折：上がり
⑮ 背板屈折：下がり
⑯ 昇降　　：上昇（手術台固定）
⑰ 昇降　　：下降
⑱ スライド：頭方向
⑲ スライド：脚方向
⑳ スライド：左方向
㉑ スライド：右方向
㉒ 脚板屈折：上がり
㉓ 脚板屈折：下がり
㉔ 高速切替
㉕ 低速切替
㉖ 水平復帰
㉗ ブレーキ解除
㉘ E スイッチ
㉙ STOP/電源 OFF スイッチ

Ⓔを押すと、機能スイッチが点灯します。機能スイッチが点灯している間に機能スイッチを押すと、その機能が作動し、PILOT ランプが点灯します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。

取扱説明書を必ずご参照ください。

7．フットスイッチの使い方（オプション）

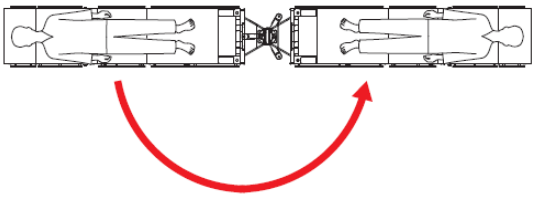


①昇降：上昇　③縦転：頭上がり　⑤横転：右下がり
②昇降：下降　④縦転：頭下がり　⑥横転：左下がり

機能スイッチを押す（踏む）ことで、各機能が作動します。スイッチを押している（踏んでいる）間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。

8．手術台の回転のしかた（使用中）

8-1 手術台のブレーキを解除します。



8-2 手術台を回転させて、CT 装置に近づけます。
8-3 CT 装置の正面で、手術台をブレーキで固定します。
8-4 ブザー音が鳴るまで、テーブルトップを CT 装置方向にスライドします。

＊【使用上の注意】

詳細な注意事項は取扱説明書をご参照ください。
重要な基本的注意

1. 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が動いたり、外れたりして患者に傷害がおきるおそれがあります。
2. 他の機器やアクセサリーを併用するときは、当該機器の注意事項等情報及び取扱説明書を読んで影響を確認してください。誤った使用方法は患者･操作者及び手術台･併用する機器やアクセサリーに悪影響を及ぼします。
3. 衛生のため、患者が触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してください。
4. 併用する他の医用電気機器から電磁的影響による誤作動が発生することがあります。
5. 手術台の操作中や、屈折操作中に背板と腰板の隙間に手を入れないでください。けがをするおそれがあります。
6. 非常用ブレーキ解除ハンドルが UNLOCK の状態で手術台を作動させないでください。転倒・けがのおそれがあります。
7. 非常用ブレーキ解除ハンドルを UNLOCK にした後は、必ず LOCK に戻してください。戻さないと操作ボックスでの操作ができません。
8. 使用条件によってバッテリーの寿命は大きく変わります。短時間使用で頻繁に充放電が繰り返されるとバッテリーの劣化が早まる可能性がありますので週 1 回充電（週末の充電）を行ってください。

   充電満了まで最長で 20 時間程度かかります。
9. 手術台使用後に電源スイッチ上のタッチパネルのインジケータが赤のみ表示されている場合は、直ちに充電してください。

   充電不足になると AC 電源でご使用は頂けますが、バッテリーでのご使用はできなくなります。

【保管方法及び有効期間等】

＊ 1．保管方法

周囲温度範囲　：－10℃～50℃
相対湿度範囲　：10%～85%（結露なし）
気圧範囲　　：700hPa～1060hPa

2．耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：１０年（注）
［自己認証（弊社データ）による］

注：耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。
但し、一般市販品の部品については、製造元の事情（製造期間終了・製造中止等）により、耐用期間内であっても部品供給による交換ができなくなる場合があります。

＊【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

使用者は手術台の使用前･使用後に必ず下記点検事項及び清掃･消毒を実施してください。

1．使用前の点検事項

1-1 マットレス
すべてのマットレスに破損がないか。
1-2 テーブルトップ
すべてのテーブルトップに破損がないか。
1-3 油漏れ
床又はベース表面に作動油が付着していないか。
1-4 電源コード及びプラグ
導線の露出又はプラグの破損がないか。
1-5 バッテリー
バッテリーが充電されているか。
1-6 電源スイッチ
電源スイッチを ON にして、電源スイッチの LED ランプおよびタッチパネルが点灯するか。
1-7 操作ボックス・フットスイッチ（オプション）・予備スイッチ
操作ボックスの機能スイッチ・フットスイッチ（オプション）・予備スイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。
1-8 緊急停止スイッチ
緊急停止スイッチが正常に作動するか。
1-9 テーブルトップのガタ
背板両側を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。
1-10 回転装置
・回転装置を正常に床に固定できるか。
・手術台と回転装置を正常に接続できるか。
・手術台を接続した状態で正常に回転できるか。
・ガタつきがないか。
1-11 タッチパネル
タッチパネルの機能スイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。

2．使用後の点検事項

2-1 マットレス
すべてのマットレスに破損又は汚れがないか。
2-2 テーブルトップ
すべてのテーブルトップに破損又は汚れがないか。
2-3 油漏れ
床又はベース表面に作動油が付着していないか。

3．清掃・消毒の手順

3-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。
3-2 使用する消毒液の表示又は説明書の内容を確認してください。
3-3 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒液を浸したガーゼ等で清拭してください。

取扱説明書を必ずご参照ください。

４．　故障時のお願い

本機が故障したと思われるときは下記の処置を行い、ご購入店又は弊社に連絡してください。

4-1　電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。

4-2　本機に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をしてください。

＜業者による保守点検事項＞

本機を安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業者による年１回の定期点検を実施してください。それ以外の業者による保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。定期点検をご希望される場合は、ご購入店又は弊社にお問い合わせください。

＜定期交換部品＞

部品名	交換時期（注）
バッテリー	２年
操作ボックス	４～６年
充電池（操作ボックス）	２～３年
キャスター	５～７年
ブレーキゴム	３～５年
電源コード	５～７年
タッチパネル	５～７年

注：上記は目安の期間です。使用条件により交換時期が変わります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ミズホ株式会社
TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社　千葉工場

保証期間に係る事項

本機は納品/設置してから１年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

取扱説明書を必ずご参照ください。